

**日立ソフトが「SenSage」を使用した統合ログ管理ソリューションを販売開始
～大量ログを安全に長期保管し、効率的な監査報告を実現～**

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社（本社：東京都品川区、執行役社長：小野 功、以下、日立ソフト）は、東京エレクトロン デバイス株式会社（本社：神奈川県横浜市、取締役社長：砂川 俊昭、以下、東京エレクトロンデバイス）が国内総販売代理店を務めるログ管理ソフト「SenSage Enterprise Security Analytics」（開発元：米国 SenSage, Inc.、以下 SenSage（センセージ））を使用した統合ログ管理ソリューションの販売を開始します。本ソリューションでは、システム毎のログの統合化や信頼性の高い管理を実現することで、システム運用業務や監査業務の効率化を図ります。

去る2007年2月に金融庁から「財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準」が発表されました。同基準では、「組織目標を達成するためのITの統制目標」の1つに「信頼性」があり、「情報が漏れなく正確に記録・処理されること」が求められています。そのため今後、ミスや不正の発見、不正に対する抑止、不正がなかったことを証明することを可能とする統合的なログ管理は、内部統制をはじめとしたコンプライアンス経営において重要な要素になると考えられます。

更に、コンプライアンスやビジネスリスクへの対応が重要視されるようになる中で、ログデータを書き換えることができない形で長期保管するニーズも高まることが考えられます。

その中で日立ソフトは、「SenSage」をログ管理プラットフォームの中核製品と位置付け、2007年9月より「SenSage」の販売を開始していましたが、更にこの度コンサルテーションから設計・構築・運用支援までをトータルにサポートするソリューションメニューを用意し、金融・公共・産業・通信など幅広い業種のお客様のコンプライアンス経営の強化を支援いたします。

特に「SenSage」と株式会社日立製作所が提供するコンテンツアーカイブ向けストレージプライアンス「Hitachi Content Archive Platform」との連携ソリューションでは、従来は各システム別に分散管理されていた大量のログデータを統合し、長期間、安全に保管・利用することが可能となります。これによりお客様の情報システム部門の方によるセキュリティ調査や内部監査部門の方による監査報告の効率化を実現します。

「SenSage」は以下の特長があります。

（1）幅広いログフォーマット

200種類のログフォーマットに対応し、幅広いログ出力リソースからログデータを収集します。

（2）独自の高圧縮機能

独自の高圧縮機能により、テラバイトクラスの大規模なログデータの長期保管を可能にします。

（3）豊富なレポートテンプレート

150種類以上のレポートテンプレートを用意しており、カスタマイズも容易に行えます。

また「Hitachi Content Archive Platform」は以下の特長があります。

(1) データの改ざん防止・真正性チェック

アーカイブデータに対して、ファイル単位の WORM 機能*と定期真正性チェック機能を備え、アーカイブしたログデータの操作ミスによるデータ削除を防止し、故意の改ざんが無いことを保証します。

(2) 高拡張性

最大 344 テラバイトまでの容量スケーラビリティを備えるとともに、稼動中も容易に容量の追加拡張が可能です。

(3) 高信頼性

アーカイブデータを格納するストレージには、ハードディスクドライブの二重障害にも対応できる高信頼の日立ディスクアレイサブシステムを使用しています。

*WORM 機能：データ改ざん防止機能(Write Once Read Many)

当社が「SenSage」を使用して提供するログ管理ソリューション体系を図 1 に示します。

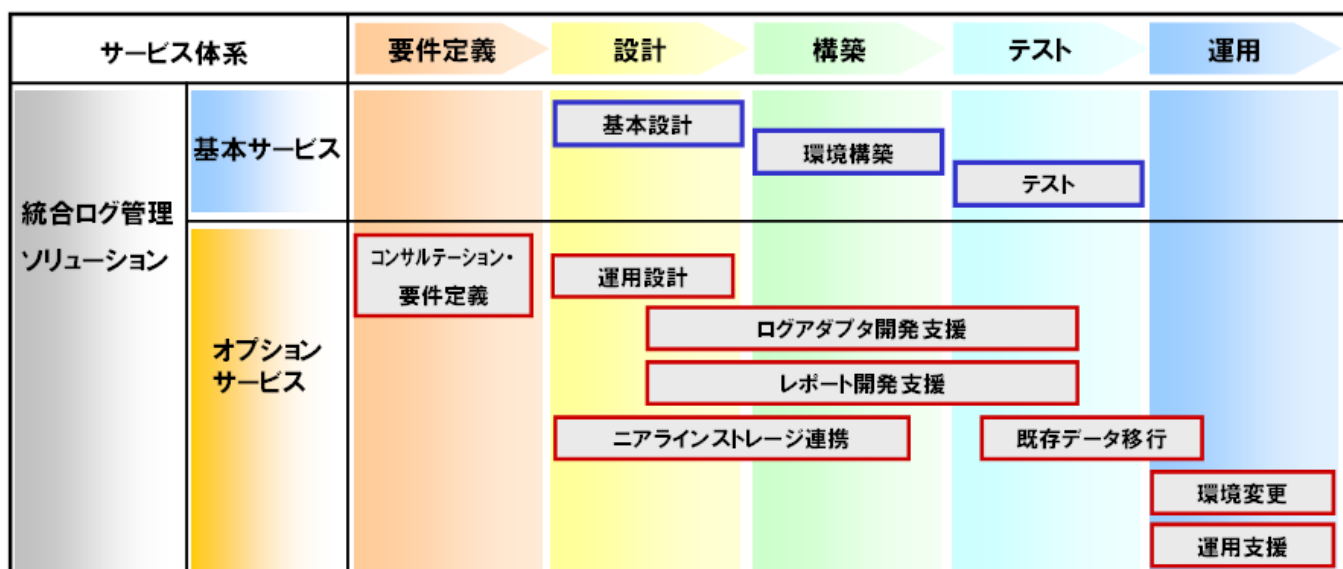


図 1 統合ログ管理ソリューション体系

(1) 基本サービス

一定の条件のもとで、確実且つスピーディに統合ログ管理システムを構築し、ご利用いただくためのサービスです。

(2) オプションサービス

要件定義（コンサルテーション）から運用支援まで、お客様の幅広いご要望にきめ細かく対応するサービスです。「Hitachi Content Archive Platform」と連携するニアラインストレージ連携ソリューションは、こちらのオプションサービスとしてのご提供となります。

日立ソフトは今後、「SenSage」と当社の情報漏えい防止ソリューション「秘文」、更に日立グループのミドルウェアとの連携を計画し、お客様にとって価値ある統合ログ管理ソリューションを提供していく予定です。

価格（税別）

「SenSage」1 ノードライセンス：1,062 万円～

「SenSage」ソリューションサービス：個別見積

当社販売目標

今後 2 年間で、「SenSage」を含めたソリューション全体として 30 セット、売上 30 億円を目指します。

<東京エレクトロニクスデバイスについて>

代表者：代表取締役社長 砂川 俊昭

設 立：1986 年 3 月

社員数：766 名（2007 年 10 月 1 日現在）

本 社：神奈川県横浜市都筑区東方町 1 番地

<日立ソフトについて>

代表者：代表執行役 執行役社長兼取締役 小野 功

設 立：1970 年 9 月

社員数：5,227 名（2007 年 9 月 30 日現在）

本 社：東京都品川区東品川 4 丁目 12 番 7 号

本件に関するお問い合わせ

日立ソフト @Sales24

Tel: 03-5479-8831 Email: sales24@hitachisoft.jp

報道機関からのお問い合わせ

日立ソフト 広報 IR 部 担当：竹橋、高野

Tel: 03-5780-6450 Fax:03-5780-6455 E-mail:press@hitachisoft.jp

東京エレクトロニクスデバイス コーポレート企画室 担当：有吉

Tel:03-5908-1985 Fax:03-5908-1991

お問い合わせフォーム：https://cn.teldevice.co.jp/press/form_ssl.html

SenSage は、米国その他の国における米国 SenSage, Inc.の登録商標です。

Hitachi Content Archive Platform は、株式会社日立製作所の商品名称です。

秘文は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社の登録商標です。

記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。